

# 樹の本



健康で心ゆたかな子 深く考えくふうして学ぶ子 進んではたらく子

4 月号 杉並区立杉並第六小学校 <http://www.suginami-school.ed.jp/sugi6shou/>

## 「学び続ける子供」

校長 守田 聡美

この春、杉六小は 57 名の一年生を迎え、新しいスタートをきりました。子供たちは、希望に溢れ、潑刺としています。お子様のご入学、ご進級誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

「令和」新しい時代がきました。学校教育も変わる時がきました。日本では公教育が始まって以来、約 150 年もの間、子供たちに一斉に勉強させるシステムを続けてきました。この学び方を変える新しい学習指導要領が令和 2 年度（2020 年度）から完全実施されます。

私たちは、変化する世の中をたくましく生きられるような子供たちを育まなければなりません。それは多様な世の中を「人生 100 年時代」においても、学ぶ意欲を持ち続け「学び続けられる子供の育成」と考えています。自ら問いをたて、自ら考え続け、自ら解決できる人です。

「学び続けられる子供」を育成するために、教育はどうあるべきか。今、世界中の国々が模索しています。STEAM（科学、技術、工学、芸術、数学）教育が重要であるとか、まずは英語であるとか、様々な考えがあります。どれも重要であるとは思いますが、本当に正しいのかどうかは誰にも分かりません。しかし、これまでのように与えられた正解のある問いを、素早く正確に解いたり、覚えたりする方法だけでは育てられないということは、明らかなように思います。

もちろん「読み、書き、計算、情報リテラシー」といった基礎的な学力はしっかり身につけてはなりません。これまでと同じように一人一人がしっかり身につけられるように指導します。ただ、その方法は、みんなが同じペースで、同じ問題を、同じように勉強するという方法から、少しずつ変えていきたいと思ひます。

授業の中で、個別に取り組んだり、友達と協同して取り組んだりしながら学びます。自分一人の力で解決できない時は、友達と一緒に考えたり、教え合ったりできるようにしていきます。

また、生活科や総合的な学習の時間には、子供が自ら問をたて、自ら考え、発表し、子供なりの解決を導きだせるような学習をしています。友達と協同して考えを深めたり、地域の方々と協働して活動したり、学び方を学べるような学習を目指します。子供たちの「学びのプロジェクト」を支援し、探求することの楽しさが味わえる学習を目指していきます。

これらは新しい学習指導要領が示す、新しい学びの姿です。本校ではこれまで以上に ICT を効果的に活用しながら、新しい学びの実現に向け、2 年間の研究に取り組んで参ります。

しかし、150 年もの間続けてきた学びのシステムを変えていくことは、教師にとっても、保護者や地域の方々にとっても、容易なことではありません。未来をたくましく生きぬく子供たちを育むために「学校教育はどうあるべきか」という問いに答えていくことは、杉六小の子供を育む私達大人に課せられたプロジェクトではないでしょうか。

このプロジェクトに挑むため「令和」元年、10 月から杉六小は「コミュニティースクール」として、新たなスタートをきります。「学校運営協議会」を設けて、学校、保護者、地域が一体となり、子供たちを育む当事者としてよりよい学校づくりを進めていきます。

「共に学び、共に支え、共に創る」新しい時代の「学校」を子供と共に、保護者、地域の方々と共に、創っていけるよう、今年度も教職員一同力を合わせてがんばります。